

# 指導と評価の年間計画(英語)

岐阜県立〇〇高等学校

科目	論理・表現 I	学年	1	単位数	2
使用教科書		副教材・問題集等			
指導者氏名					
指導クラス					

## 1. 科目の目標

<p>・話すこと(やり取り)</p> <p>ア 日常的话题について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>・話すこと(発表)</p> <p>ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p> <p>・書くこと</p> <p>ア 日常的话题について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p> <p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。</p>
---

## 2. 評価の観点の趣旨

知識・技能(技術) a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションの場面において、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

## 3. 指導及び評価計画

月	単元	題材内容 指導項目	予定時間	主な学習活動(指導内容)と到達目標	評価の場面 ・方法	評価の観点		
						a	b	c
4月	Lesson1 (オエンテーションを含む)	<p>・新しい友達やクラブ活動を紹介する内容</p> <p>・文の種類(疑問文、命令文、感嘆文)</p> <p>・応答する</p> <p>・理由を述べる</p>	5時間	<p>【知識・技能】</p> <p>・疑問文、命令文、感嘆文の用法を理解する。</p> <p>・相手の発話に応答する表現と考えを理由とともに話して伝える技能を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・聞き手に自分のことをよく理解してもらえるように、自分の参加するクラブ活動をクラスに紹介することができる。</p>	<p>小テスト</p> <p>定期考査</p> <p>パフォーマンステスト(スピーチ[S.P])</p>	○	○	○
5月	Lesson2	<p>・学校行事(文化祭)についての内容</p> <p>・文型と動詞</p> <p>・賛成する/反対する</p> <p>・聞き直す</p>	4時間	<p>【知識・技能】</p> <p>・文型(5文型)と自動詞と他動詞の用法を理解する。</p> <p>・相手の論点を認めた上で反論したり、相手の発言内容を確認するために聞き返したりする技能を身につける。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・学校行事の計画について話して伝えあうことができる。文化祭について、論理の構成を工夫して友達にメッセージを書くことができる。</p>	<p>小テスト</p> <p>定期考査</p> <p>ワークシート</p>	○	○	○

	Lesson3	<ul style="list-style-type: none"> <li>旅行や観光に関する内容</li> <li>時制（現在、過去、未来）</li> <li>激励する/励ます</li> <li>計画する/予定する</li> </ul>	4時間	<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>時制（現在形、過去形、未来表現）の用法を理解する。</li> <li>相手を激励したり励ましたりする表現や、計画や予定を伝えるための表現を理解する。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の旅行の経験について、論理の展開を工夫して、相手に伝えることができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査 ワークシート	○ ○	○ ○	○ ○
6月	Lesson4	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣味や関心に関する内容</li> <li>完了形（現在、過去、未来）</li> <li>経験を訪ねる</li> <li>初めての経験を述べる</li> </ul>	4時間	<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>完了形（現在、過去、未来）の用法を理解する。</li> <li>相手の経験を訪ねたり、自分の初めての経験について伝えたりする技能を身につける。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツや音楽について、これまでの経験について質問したり、自分が行ったことがある場所や体験したことについて、論理の展開を工夫して、話したり書いたりすることができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査 パフォーマンステスト（インタビュー [S.I]）	○ ○ ○	○ ○	○ ○
	独自教材	名作と呼ばれる映画や小説などからレシテーション用に用意した英文を使用	4時間	<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的や場面、状況に応じて、語や句、文における適切な強勢やイントネーション、区切りについて理解し、書き手の意図やメッセージの重点を効果的に伝えるための技能を身につける。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>書き手の意図やメッセージの重点を、音声で効果的に伝えるための技能を身につける。</li> </ul>	パフォーマンステスト（レシテーションコンテスト [S.P]）	○	○	○
7・8月	Lesson5	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来や進路に関する内容</li> <li>助動詞</li> <li>許可を求める/依頼する</li> <li>義務/必要を表す</li> <li>回想する/自省する</li> <li>パラグラフの構成</li> </ul>	7時間	<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞の用法について理解する。</li> <li>相手に許可や依頼、義務や必要、また回想や自省を伝える技能を身につける。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の夢と、実現のために必要なことについて、論理の構成を工夫して、書いて伝えることができる。</li> <li>部活動の是非や読書や運動の重要性などについて、つながりの言葉を用いて、論理に矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに自分の意見を述べるることができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査 ワークシート	○ ○	○ ○	○ ○
9月	Lesson6	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物など日常生活に関する内容</li> <li>受動態</li> <li>原因/影響</li> <li>喜び/驚き</li> </ul>	4時間	<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>受動態の用法について理解する。</li> <li>物事の原因や影響について表現したり、喜びや驚きなど感情を表現したりする技能を身につける。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>おすすめの小説をペアで紹介することができる。</li> <li>買い物の出来事について、論理の展開を工夫してペアと話したり、詳細に日記にまとめたりすることができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査 ワークシート	○ ○	○	○
10月	Lesson7	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日会など交流や交際に関する内容</li> <li>不定詞</li> <li>感謝する</li> <li>謝罪する</li> <li>弁解する</li> <li>プレゼンテーション</li> </ul>	8時間	<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の用法について理解する。</li> <li>相手に感謝や謝罪を伝えたり、弁解したりする技能を身につける。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>受け取った贈り物の詳細や気持ちを伝えたり、論理の展開を工夫して、お礼の手紙を書いたりすることができる。</li> <li>再生可能エネルギーの是非について、論理の構成（序論・本論・結論）を工夫し、図表を使って発表することができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査 ワークシート パフォーマンステスト（プレゼンテーション [S.P]） ※グループ内発表を録画	○ ○	○ ○	○ ○
11月	Lesson8	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツや健康に関する内容</li> <li>動名詞</li> <li>誘う/申し出る</li> <li>推薦する</li> </ul>	4時間	<b>【知識・技能】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>動名詞の用法について理解する。</li> <li>相手を誘ったり、申し出たりする表現や、提案する技能を身につける。</li> </ul> <b>【思考・判断・表現】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツをすることの利点について、論理に矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに1つのパラグラフを書くことができる。</li> </ul>	小テスト 定期考査 ワークシート	○ ○	○ ○	○ ○

	Lesson9	・メディアやコミュニケーションに関する内容 ・分詞 ・描写する ・判断の根拠を述べる	4時間	【知識・技能】 ・分詞の用法を理解する。 ・場面を描写したり、判断の根拠を述べたりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・自分自身や性格について、論理の展開を工夫して説明する1つのパラグラフを書くことができる。	小テスト 定期考査 ワークシート	○ ○	○	○
1 2 月	Lesson10	・文化や異文化理解に関する内容 ・関係詞 ・定義する ・言い換える ・スピーチ	8時間	【知識・技能】 ・関係詞の用法を理解する。 ・物事や概念を定義したり、別の視点から言い換えたりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・日本の文化や人たちについて話したり書いたりすることができる。 ・日本の文化や海外の文化を、論理の構成を工夫して、クラスで紹介することができる。	小テスト 定期考査 パフォーマンステスト（校内英語スピーチコンテスト [S.P.]）	○ ○ ○	○	○
1 月	Lesson11	・国際問題に関する内容 ・比較表現 ・提案する ・賞賛する ・ディベート（立論及びQAのみ）	8時間	【知識・技能】 ・比較表現の用法を理解する。 ・相手の意向を尊重しつつ提案したり、物事を賞賛したりする技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・貧困、男女平等、環境などの国際的な話題について、論理に矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに1つのパラグラフを書くことができる。 ・電子書籍やコンビニの24時間営業の是非に関するディベートにおいて、相手からの質問に対して、意見を論理に矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに述べるができる。 ※1年次のディベートは試合形式では行わず、立論とQAを行う段階に留める。	小テスト 定期考査 ワークシート パフォーマンステスト（ディベート [S.I.]）	○ ○	○ ○ ○	○ ○
2 月	Lesson12	・日本の社会問題に関する内容 ・仮定法 ・助言を求める/助言する ・願望を表す ・グループディスカッション	6時間	【知識・技能】 ・仮定法の用法を理解する。 ・相手に助言を求めたり、助言したりする技能や願望を表す技能を身につける。 【思考・判断・表現】 ・「タイムマシンがあったら」というテーマのグループディスカッションにおいて、自分の考えを論理の矛盾や飛躍がなく、適切な理由とともに述べるができる。 ※グループディスカッションは、同時期に英語コミュニケーションIでも行い、論理表現Iにおいては記録に残す評価は行わない。	小テスト 定期考査	○ ○		
			70 時間	※「主体的に学習に取り組む態度」は、「思考・判断・表現」と一体的に評価する。	S.I=「話すこと【やり取り】」 S.P=「話すこと【発表】」			

#### 4. 「話すこと【やり取り】」と「話すこと【発表】」を評価するパフォーマンステスト

##### 【前期】

時期	パフォーマンステストの種類	評価領域	評価の形態等	配当時間
4月	スピーチ	話すこと【発表】	授業内での発表	2時間
6月	インタビュー	話すこと【やり取り】	ALTによるインタビュー	2時間
7月	校内レシテーション大会	話すこと【発表】	授業内での発表（クラス予選）	2時間

##### 【後期】

10月	プレゼンテーション	話すこと【発表】	グループ内発表をタブレットに録画	1時間
12月	校内スピーチコンテスト	話すこと【発表】	授業内での発表（クラス予選）	2時間
1月	ディベート（立論とQAのみ）	話すこと【やり取り】	ALTによるインタビュー	2時間

※「書くこと」の評価については、授業で取り組むワークシート及び定期考査で評価する。